



発行：渋川地区広域市町村圏振興整備組合 総務課
構成市町村：渋川市・吉岡町・榛東村

広域だより

vol. **87**
2018.12.15



上手に消火できるかな？

10月13日、渋川市の上白井小学校跡地にて、「災害ミッション・インポッシブル」(一社・渋川青年会議所主催)が開催され、広域圏内の小学生38人が災害時の行動について学習しました。

写真は消防職員から消火器の使い方について指導を受けている様子です。

目次(主な内容)

- ・清掃センターからのお願い…………… 2.3
- ・消防本部からのお知らせ…………… 4.5
- ・平成29年度決算報告…………… 6
- ・感震ブレーカーについて…………… 7
- ・インフォメーション…………… 8

清掃センターからのお願い

ペットボトルのラベルはがしが開始されて半年以上が経過しました。清掃センターでは、全体の8割ほどラベルがはがされたペットボトルが回収されています。今後もリサイクルの品質向上のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。

今回は、清掃センターに回収されたペットボトルがどのように処理されているのか、その流れについて紹介します。



ラベルを
はがそうね！



▲回収されたペットボトル



▲完成したベール

皆様の家庭等できれいにラベルのはがされたペットボトルは各地域のごみステーションに集積され、収集車により清掃センターへ運ばれてきます。

まず始めに、ごみ計量機にて集積されたペットボトルの計量を行います。

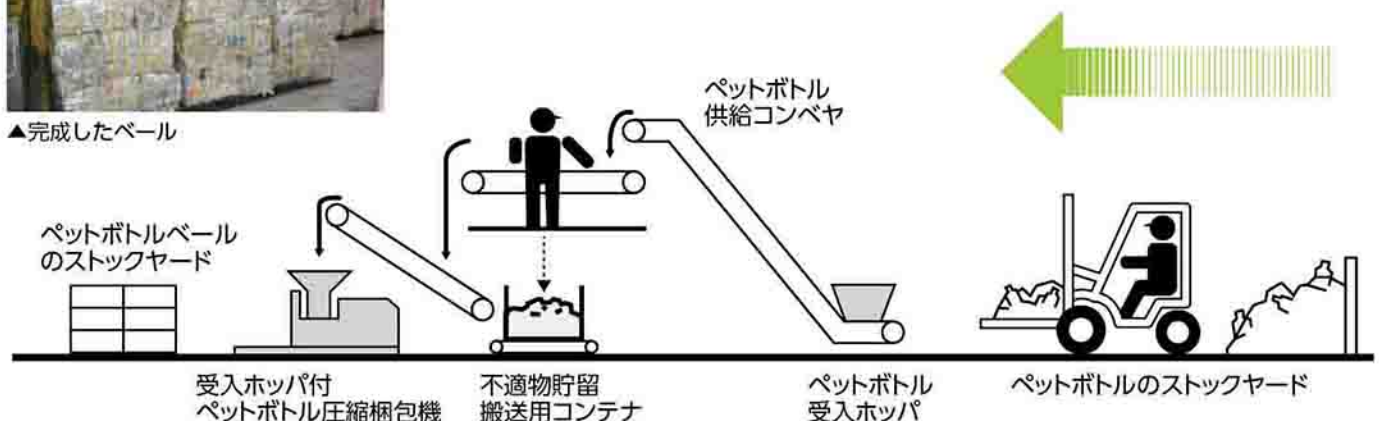
次に、ペットボトルは、リサイクルセンターのストックヤードに一時保管されます。

その後、コンベヤに流され、手作業にてペットボトルの選別が行われます。この時に汚いペットボトルの一部が取り除かれます。

最後に、圧縮梱包機で梱包されベールとなり再商品化工場に引き取られるまで保管されます。

ラベルの混ざっていないきれいなベールほど再生品の品質向上につながっていきます。

ペットボトル処理の流れ



10月
17 水日



勉強して
きました。



ラベルを
はがすよ!



榛東村立南小学校4年生51人が社会科見学の一環として、清掃センター、リサイクルセンターを訪れました。

清掃センターでは、巨大なごみクレーンでごみを混ぜ合わせる作業などを熱心に見学していました。

また、リサイクルセンターでは、ペットボトルの圧縮梱包作業等を見学し、清掃センター職員からペットボトルのラベルはがしの説明を受け、ごみ減量化につながるごみの分別やリサイクル処理の大切さを学びました。

**清掃センターに
見学に行っ
て
きました**



清掃センターのご案内

搬入できる日 月曜日～金曜日
(平日が祝日の場合も搬入できます。)

搬入時間 午前8:30～12:00 午後1:00～4:30

【午前中は12時、午後は4時30分には退場できるよう搬入してください。
なお、年末年始の対応は8ページに掲載しています。】

休 場 日 土・日曜日及び年末年始

ごみ処理手数料 20キログラムにつき300円

問い合わせ先 ☎23-0460 ※搬入の際に住所が確認できるものが必要になります。(免許証等)



住所: 浜川市行幸田3153-2

のお知らせ

群馬県緊急消防援助隊 合同訓練を開催



平成30年10月4日から5日までの2日間、群馬県緊急消防援助隊合同訓練が渋川市の北橋総合グラウンドなど3会場で、開催されました。

この訓練は、他の都道府県で震度6強の地震が発生し、土砂災害により多数のけが人がいる現場を想定し、県内全11消防や災害派遣型医療チーム（DMAT）、災害救助犬ネットワークなどが参加し、大規模災害への発生に備えて連携強化を図りま

した。

また、他の都道府県へ災害出動をしたことを想定しているため、体育館での宿営訓練も実施し、実災害に即した訓練となりました。

●DMATとは、大規模災害や多数傷病者が発生した現場で活動できる機動性を備えた災害派遣医療チームのことです。医師、看護師などから構成されています。



倒壊家屋救出訓練の様子

訂正と お詫び

6月15日号の4ページ掲載の「飲食店への消火器の設置基準が強化されます」について、県名に誤りがありました。富山県糸魚川市とありますが、正しくは新潟県糸魚川市です。訂正してお詫びします。

毎月10日はぐんま住警器の日

平成30年10月10日より住宅用火災警報器（以下、住警器という。）の設置を促進するため、毎月10日を「ぐんま住警器の日」と定め、群馬県及び県内の消防本部と連携して設置率の向上を図っていきます。

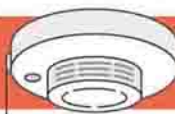
住警器については、総務省消防庁から、平成30年6月1日時点の設置率等が公表されており、群馬県は設置率70.6%で、全国47都道府県中3番目に低い数値となっています。

渋川広域消防本部では、「ぐ

んま住警器の日」に伴い各種広報活動等を強化していきます。

まだ設置されていないご家庭では、速やかに設置をしていただき、既に設置されているご家庭では、設置後10年を目途に古くなった住警器を交換しましょう。10年を経過すると機器の劣化や電池切れにより正常に作動しなくなる恐れがあります。

また、設置後10年未満でも電池の確認などを行うことが大切です。下記の点検方法を参考に日頃から点検を行いましょう。



住警器の種類

煙式

煙が住警器に入ると音や音声で火災の発生を知らせます。寝室や階段室に設置するタイプです。

熱式

住警器の周辺で一定温度以上熱くなると、音や音声で火災の発生を知らせます。調理の過程で煙や蒸気が発生する台所などは、熱式を設置します。

点検方法

音が鳴らない場合

音が鳴る場合

火災警報以外の音

火災警報の音



点検ボタンを押すか、点検ひもを引いて作動確認する。

それでもダメな場合

※電池がきちんとセットされているか確認が必要

「電池切れか「機器本体の故障」となりますので、取扱説明書を確認するかメーカーにお問い合わせください。

消防本部から

平成30年度

渋川広域圏内

防火ポスターコンクール

渋川広域消防本部では、住民の防火意識を高めるとともに、火災の恐ろしさに関心をもってもらうため、広域圏内の小・中学校に防火ポスターの募集をしたところ186点の応募がありました。審査の結果、最優秀賞2点、優秀賞4点、入賞40点が入選しました。最優秀賞と優秀賞の受賞者は次のとおりです。

(敬称略・順不同)

中学生の部

最優秀賞



浅見 早也佳
北橋中学校 1年

優秀賞

池田 澤那
渋川中学校 3年

志村 愛
古荻中学校 1年

小学生の部

最優秀賞



永井 結斗
渋川南小学校 5年

優秀賞

山下 真葵
津久田小学校 6年

大淵 奏人
駒寄小学校 3年



▲一日消防長のアンカンミンカン



▲一日救急隊長の高橋香奈さん

一日救急隊長行事 一日消防長行事

9月7日、独立行政法人国立病院機構渋川医療センターの副看護師長の高橋香奈さんが一日救急隊長を務めました。
この行事は毎年、「救急の日」(救急医療週間)に合わせて実施し、多くの人に救急業務に対する関心と理解を深めてもらうために行っているものです。



▲まちなか防火啓発の様子

当日は渋川市内のショッピングセンターで防火啓発用品を配布し、火災予防の重要性を呼びかけました。その後、消防本部での火災想定訓練を見学しました。
この行事は、秋の「火災予防運動期間」に合わせて実施しているもので、火災予防の普及を図り、火災による死傷者及び財産の損失を防ぐことを目的としています。

当日は病院前救護に対する理解と救急車の適正利用について、チラシやポスターの配布、救急活動訓練観覧などを通して圏域住民や医療関係者へ広報活動を実施していただきました。
また、11月9日、吉本興業株式会社所属で本県みどり市出身・在住のアンカンミンカン(川島大輔さん、富所哲平さん)が一日消防長を務めました。

平成29年度決算報告

組合の財政状況をお知らせします

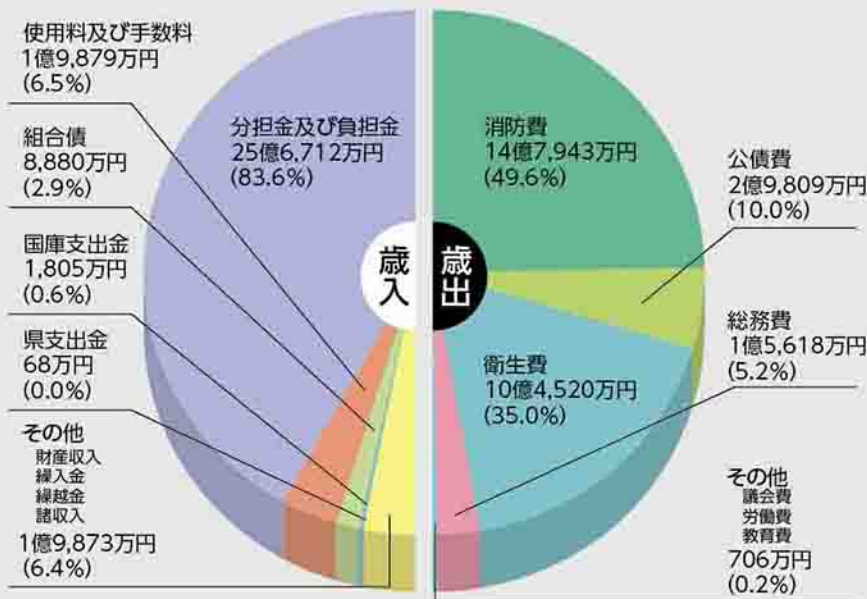
平成29年度の一般会計決算が、広域組合議会10月定例会で認定されました。

各事業の執行については、厳しい財政事情の中で、経費の節減を図りながら最大の効果が得られるよう効率的な執行に努めました。

一般会計の決算額は、歳入30億7,217万円、歳出29億8,596万円となりました。

一般会計決算

歳入合計 30億7,217万円 歳出合計 29億8,596万円



組合の借入金について

借入金の残高 23億1,584万円
(平成30年9月30日現在)

ごみ処理施設	16億6,192万円
し尿処理施設	3,300万円
火葬場・斎場施設	3,700万円
消防施設・車両	5億8,392万円

互助会(職員共済会)に対する助成の状況 (平成29年度)

項目	金額等
①互助会に対する助成金の額	147万円
②会員による掛金の額	209万円
③公費負担率①/(①+②)	41.3%

※助成金は、職員の健康管理対策(人間ドック費用の一部助成)と職員の団体保険掛金(死亡弔慰金)に使われています。

主要事業の成果について

ふるさと市町村国事業

渋川地区広域圏が一体となって魅力あるふるさとづくりを行うため、広報「広域だより」を発行し、圏域の行政情報を提供しました。

また、構成市町村の特徴ある緑化および花いっぱい運動等に助成を行うグリーンフラワー事業を実施しました。

防火活動推進事業として火災予防運動ポスター等を作成し、防火に対する意識の高揚を図るため掲示を行いました。

また、防火啓発のイベント等で活用するため、クリアファイルの配布を行いました。

救急医療事業

休日在宅当番医制、歯科在宅当番医制、病院群輪番制および夜間急患診療所を渋川地区医師会と渋川北群馬歯科医師会の協力を得て実施し、圏域住民の常時診療体制の確立に努めました。

火葬場・斎場事業

圏域住民が利用しやすい施設をめざして、平成26年度から指定管理者が「渋川広域斎場しらゆり聖苑」の管理運営を実施しています。

ごみ処理事業

清掃センターではごみ処理業務の円滑な運営を図るため、運転管理業務のすべてを民間委託するとともに、各設備機器の点検整備を行いました。

また、施設稼働後25年が経過し付属機器等の老朽化が進んでいるため、各種機器の補修工事を行いました。

リサイクル施設においては、びん類とペットボトルの再資源化に努めました。

し尿処理事業

環境グリーンセンターの処理業務の効率化、安定化を図るため、運転管理業務を継続して民間委託するとともに、各設備機器の点検整備及び受電設備の更新を行いました。

消防救急事業

圏域住民が安心して暮らせるまちづくりをめざして、各種火災予防施策を実施しました。

車両では、本署の化学車及び指揮支援車を更新し、消防救急態勢の充実強化に努めました。

また、「たかさき消防共同指令センター」を県内6消防本部で運営し119番通報の受信、無線管制等を行い業務の効率化を図りました。

教育関係事業

圏域住民の健全なレクリエーションの場として利用される、広域圏プールなどの運動施設の管理に努めました。

感震

ブレーカーを
知って
いますか？



感震ブレーカーとは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を遮断するもので、さまざまな種類があります。

感震ブレーカーを設置することにより、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する電気関係の出火を予防することが期待できます。

東日本大震災における火災全 111 件のうち、原因が特定されたものが 108 件、そのうち 58 件が電気関係の出火とされています。

【参考：日本火災学会誌 2011 年東日本大震災 火災等調査報告書】

平成 30 年 6 月 17 日、群馬県南部を震源とする地震が発生し、渋川市では震度 5 弱を観測するなど、いどこで地震が発生してもおかしくない状況となっており、地震による火災の被害軽減のためには、平時からの備えが重要ですので、感震ブレーカーの設置を検討してみてください。

製品ごとの特徴・注意点を踏まえ、適切に選びましょう！

分電盤タイプ（内蔵型）

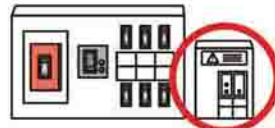
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。



費用：約5～8万円（標準的なもの）
※電気工事が必要

分電盤タイプ（後付型）

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。



費用：約2万円 ※電気工事が必要
※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能

コンセントタイプ

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。



費用：約5千円～2万円程度

簡易タイプ

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。



費用：約2～4千円程度
※ホームセンターや家電量販店で購入可能（電気工事不要）

【参考：感震ブレーカーの種類】経済産業省のチラシより

清掃センター、小野上処分場の放射能濃度及びダイオキシン類測定結果

全て基準値を
下回っています

放射能濃度測定結果

1. 清掃センター焼却灰・ばいじん（埋立基準 8,000Bq/kg 以下）

対象試料	試料採取日	核 種		放射能濃度合計
		セシウム-134	セシウム-137	
焼却灰	H30.9.5	検出せず	47	47
ばいじん	H30.9.5	30	230	260

2. 清掃センター排ガス（空気中の濃度限界 セシウム-134：20Bq/m³ セシウム-137：30Bq/m³）

対象試料	試料採取日	採取媒体	核 種	放射能濃度	放射能濃度合計	検出限界値
排ガス (1号炉) (2号炉)	H30.9.5	ろ紙部	セシウム-134	検出せず	検出せず	2Bq/m ³
			セシウム-137	検出せず	検出せず	
	H30.9.6	ドレン部	セシウム-134	検出せず	検出せず	
			セシウム-137	検出せず	検出せず	

3. 小野上処分場放流水等（公共水域の濃度限度 セシウム-134：60Bq/L セシウム-137：90Bq/L）

対象試料	試料採取日	核 種		放射能濃度合計	検出限界値
		セシウム-134	セシウム-137		
放流水	H30.9.5	検出せず	検出せず	検出せず	10Bq/L
地下水	H30.9.5	検出せず	検出せず	検出せず	2Bq/L

ダイオキシン類測定結果

1. 清掃センター

対象試料	試料採取日	測定結果（毒性等量）	排出基準
焼却灰	H30.7.31	0.0016ng-TEQ/g	3ng-TEQ/g
排ガス（1号炉）	H30.8.10	0.0021ng-TEQ/m ³ N	1ng-TEQ/m ³ N
〃（2号炉）	H30.7.31	0.011ng-TEQ/m ³ N	1ng-TEQ/m ³ N

3. 榛東処分場

対象試料	試料採取日	測定結果（毒性等量）	排出基準
放流水	H30.7.31	0.0012pg-TEQ/L	10pg-TEQ/L
地下水（上）	H30.7.31	0.11pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L
地下水（下）	H30.7.31	0.047pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L

2. 小野上処分場

対象試料	試料採取日	測定結果（毒性等量）	排出基準
放流水	H30.7.31	0.051pg-TEQ/L	10pg-TEQ/L
地下水（上）	H30.7.31	0.057pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L
地下水（下）	H30.7.31	0.048pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L

4. エコ小野上処分場

対象試料	試料採取日	測定結果（毒性等量）	排出基準
地下水（上）	H30.7.31	0.057pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L



年末年始の休み

●清掃センター ☎23-0460

1月1日(火)から1月3日(木)まで休みになります。
搬入できる時間は、午前8時30分から午後4時30分(12時から1時を除く。)までですが、午前中は12時、午後は4時30分には退場できるよう余裕をもって搬入してください。

年末は、清掃センターへ持ち込まれるごみの量が非常に多くなり施設や周辺道路の混雑が激しくなります。直接搬入の待ち時間が大変長くなりますので、できる限り家庭ごみはごみステーションに計画的な搬出をお願いします。

●環境グリーンセンター ☎23-3007

環境グリーンセンターは、12月29日(土)から1月3日(木)まで休みとなります。
右記許可業者のし尿汲み取りの営業日については、直接お問い合わせください。
なお、年末のし尿等の汲み取りは早めに許可業者へ依頼をしてください。

※伊香保運送(有)については伊香保地区内のみ、
(有)群馬サポートについては榛東村内のみの取扱いとなります。

許可業者名	電話番号
(有) 渋川衛生社	☎22-0923
(有) 関東清掃社	☎22-0294
伊香保運送(有)	☎72-2434
(有) 北群馬衛生社	☎54-2768
(有) 群馬サポート	☎54-2322

●しらゆり聖苑(火葬場・斎場) ☎30-3331

1月1日(火)から1月3日(木)まで休みになります。
なお、12月31日(月)の通夜式は行えません。
火葬や施設利用の予約は、上記休みに関係なく24時間申込みができます。
また、小動物の火葬予約は、午前8時30分から午後5時15分まで申込みができます。

夜間急患診療所を ご利用ください

夜間急患診療所は、渋川市
社会福祉センター(渋川ほっ
とプラザ)の1階にあります。
夜間の急な発病や、けが
をした時にご利用ください。



●診療時間

毎日午後7時から午後11時まで

●診療科目

初期診療:内科、小児科、外科

●☎23-8899



普通救命講習会を開催

渋川広域消防本部では、心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の使用方法などを学ぶ普通救命講習会を次のとおり開催します。受講される方は、当日動きやすい服装でお越しください。

- 実施日: 平成31年3月9日(土)
午前9時~12時
- 会場: 渋川広域消防本部 2階会議室
(渋川市渋川1815-51)
- 対象者: 渋川広域圏内在住、在勤、在学の方
- 定員: 30名 ※定員に達し次第、締め切りとなります。
- 受講料: 無料
- 講習申込先: 渋川広域消防署救急講習担当
(☎25-0119)
- 受付期間: 平成31年2月4日(月)~平成31年
3月1日(金) (平日9時~17時)

※渋川広域消防本部消防長の修了証(3年間有効)が交付されます。

119番通報、電柱で位置特定

平成30年12月1日から、119番通報時に電柱に付された管理番号を聞き取り、通報者の位置を特定できるようになりました。現在は固定電話や携帯電話からも発信地を特定していますが、携帯電話では詳しい位置の特定が難しい場合があります。119番通報する際に公共施設等の目標物がない場合は、近くの電柱の管理番号をお伝えください。